



倉島 良司 議員

TPP(環太平洋連携協定)本番

質問 TPP交渉参加に「賛否」あいまいな態度だった天野市長は昨年の暮れ頃から、公的な場所やインターネット等の場で「本当の気持ちには反対」だとか、「個人的には反対」と表明されるようになった。
誠に結構なことであるが、いよいよ米国との事前交渉も本番に入り、この6月頃が山場の一つとも



村上 清彦 議員

子育ての経済負担軽減を！

質問 出産から保育、医療、教育などの費用負担は大きいものがある。高山市では「子育て支援金」事業を実施し、出生率の改善に一役かっている。当市でも思い切った支援策が必要ではないか。
答弁 出生率の改善に向けての支援策の必要性は十分認識しており、有効な取り組みについても検討が必要と考えている。今後財政状況にも注視しながら、子育て支

援については、当市の重点施策の一つと位置付け取り組んでいく。

質問 肺炎で年間11万人を超す高齢者が亡くなっている。ワクチン接種の予防効果が高いことから全国で660市町村が公費助成を行っているが、当市でも取り組んではどうか。

質問 高齢者の技能や知恵を登録し、積極的な社会参加、能力活用の促進を図り、市民の多様なニーズへの対応や学習活動を推進する、ボランティアの人材バンクについての考えは。

答弁 県内における動向を注視していたが、徐々に接種助成を開始している自治体が増えている現状である。今後は本制度の更なる情報収集や関係機関等との調整に入る時期かと考えている。

質問 高齢者の積極的な社会活動を推進し、地域の活性化や生涯学習活動の充実に寄与するものと認識している。シルバー人材センターへの支援や「阿賀野市生涯学習ガイド指導者編」を市民の皆様が役立ててもらおうなど、高齢者の能力活用の促進を図りたいと考えている。

その他の質問
◆育児不安への対策、産み育てやすい環境づくり、有償ボランティアの推進について



肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を！

言われる中で、市長は自分の本意をどういう態度で貫く覚悟であるのかお尋ねする。

質問 特別養護老人ホームの施設整備率が県下でトップクラスということには敬意を表するが、待機者が300人余りもおられる訳だから、待機者の解消「待機者ゼロ」を目指すべきと思うが、市長の考えを。

答弁 関係国との事前協議は、ベトナムから始まり、全9カ国と協議を終えたところである。事前協議が進められる中で、農業面だけでなく、労働や金融、福祉・医療に加え、鉄鋼や自動車産業にも大きな損失となることが明らかになった。

答弁 4期計画が実質的に5期計画へ繰り越されることや、他市に比較して当市の高い充足率を踏まえ、特養施設の整備は計画に組み込まないこととした。

パルシステム生協、新潟総合生協などの消費者団体と共に、交渉参加の反対の時を見据えながら国に伝えたいと思っている。

質問 「定期巡回、随時対応型訪問看護」という新サービスの導入で、現場から不安の声があるが、事業所とも連携をとり、検討していくこととしている。

介護保険法「改正」に伴う対応



質問 「定期巡回、随時対応型訪問看護」という新サービスの導入で、現場から不安の声があるが、事業所とも連携をとり、検討していくこととしている。



遠藤 智子 議員

議会(議員)からの政策提言と市長の予算付けについて

質問 議会(議員)は市民の立場から市の各種政策や政策決定、執行を監視し、政策の提言や立案を行い、政策の予算付けは市長、執行機関の責務と思うがどう。
答弁 予算編成の権限は首長に与えられており、政策の具体的な予算付けは市民や議会、各種団体からの意見をもとに案を策定、議会

に提案し、審議決定されることから、政策決定や具体的な予算付けについて、市長や執行機関だけの責務とは考えていない。

質問 昨年12月、地域政党代表天野市榮氏のブログ中に、同年12月定例会の一般質問の安田図書館の改造費用についてのが書かれているが、これは阿賀野市長への質問であったか。

答弁 その通りである。

質問 ブログでは「財源の裏付けのない提案は政策ではなく、自治会や各種団体の陳情、要望と同じレベル」とあった。議員は財源を確保しないと質問できないのか。予算付けは執行機関ではないのか。また、各種団体や自治会の要望、陳情は効力がないと解釈される。市民に対する言とくではないか。
答弁 自治会や各種団体は要望の提出で良い。議会は財源も確保してほしい。



山賀 清一 議員

市長の4年間にについて

質問 地域は全く閉塞状況。国、県の責任も大であるが、市も驚くほど衰退し、地域の過疎化的現象悪化や少子高齢化など負のスパイラル状態の中で、打破する努力不足。沈滞する一方、地域の活性化策も無く、合併後から一貫してこの遅れは目に余るものがある。市民には言い訳など必要ない。どこに安全安心があると言えるのか。市は商業、農業、教育、バイテ

ク、ITなど様々な産業構造の中で、育成コミュニティビジネスの支援策も欠如大であった。優劣をつけたとしたら何を以って説明できるか。負の遺産を引き継ぎ財政再建に全力を尽くしたと説明するが、失ったものは大きい。仕事がなく、雇用も不十分。
市長は市民に立派な約束手形を発行し、市民は期待もあった。任期4年間あれば実現可能な事業が多くあったはず。財政難が理由にはならない。
人間は問題解決の前に、市民の求める変化に対応すべき課題がある。説明を。

答弁 合併前後に実施した事業で市債残高、市債発行額が増大していたため、まず公債費適正化計画を優先して財政健全化に取り組み、ご指摘のように地域経済の活性化につながる投資的な事業が思うように出来ない状況であった。単年度で市債残高は21億も圧縮

質問 昨年6月、法人市民税率引き上げ条例案が否決になった。ブログでは、可決していれば4800万円の自主財源が確保でき、私の提案は政策に格上げとなり予算計上されたところだが、4800万円は歳入に入り、私の提案のみに計上されるのではなく、総合的な予算計上となるのではないか。

答弁 そうなる。

質問 ブログは人を追い詰めることもあり得る。市長には、市民に誇れる内容でブログを使ってほしい。



した。更にプレミアム商品券発行、主要産業の建設業支援のため公共工事の市内業者発注や住宅リフォーム補助、地場産瓦、太陽光発電補助などで市内住宅関連業界の活性化に大きく貢献できたと言える。
水原中学校改築、水原郷病院の存続、改築整備に現在努力中である。

